

平成26年度 原子力防災研修 職員アンケートのまとめ

お世話になりました。今後の取り組みに活かしていきたいと思えます。

1 篠山市における原子力事故対策の必要性について分かりましたか。

よく分かった（19）・ ある程度分かった（16）・ あまり分からなかった

【感想・理由など】

- ・篠山市が十分な危険区域であることを知り、焦りを感じました。
- ・「死の灰」の話怖かったです。対策としては「外に出ない」ことしか思い浮かびませんでした。
- ・私たちにできる対策が安定ヨウ素剤であることが分かりました。
- ・自治会でも学習した。

2 原子力発電所の事故は何が怖いのか分かりましたか。

よく分かった（17）・ ある程度分かった（16）・ あまり分からなかった（1）

【感想・理由など】

- ・被ばくで発ガンがこわい。外部被ばくと内部被ばくのこわさを知った。

3 放射性物質の取り込み防止薬「安定ヨウ素剤」の役割が分かりましたか。

よく分かった（24）・ ある程度分かった（11）・ あまり分からなかった

【感想・理由など】

- ・（安定ヨウ素剤の実物を）実際に見れてよかった。
- ・大人より子どもを守ることが大事だと思いました。
- ・他の物よりも低い率らしいですが、副作用があることが分かりました。
- ・なぜ安定ヨウ素剤を必要とするのかがよく分かりました。
- ・（原発から）50kmの距離があるが、どういう避難経路が予想されるか等が分からなかった。
- ・課題も少し見えてきましたね。情報が市民に迅速に伝わるかどうかなど。

4 今回の研修を受けて、今後何を本校の取組に加えたらよいと思えますか。

【学校でのヨウ素剤の備蓄】

- ・学校での安定ヨウ素剤の備蓄。そして服薬をしている生徒には同意書（薬の飲み合わせ）を提出してもらう必要があると思えます。
- ・安定ヨウ素剤の人数分の常備（学校内で）。
- ・安定ヨウ素剤の備蓄。
- ・安定ヨウ素剤の備蓄。
- ・安定ヨウ素剤の備蓄が可能であれば、それが一番望ましい。取りに行く時間で被ばくしてしまいそうである。

【シミュレーション、対応方法】

- ・まず本当に避難するようなことが起きた時のシミュレーションが必要かと思えます。
- ・原発による災害が実際に発生した時に、どのように学校として動くのか具体的にシミ

ュレーションをしておく必要があると思います。

- ・子どもが学校にいる間に原子力事故があった場合の対応など。
- ・まずはマニュアル作り。
- ・薬を飲みたがらない幼児児童生徒への対処。

【保護者、地域、行政との連携】

- ・学校の生徒には錠剤が難しい子もいて、粉薬じゃないとという場合もあり、3歳未満だけでなく、知ってもらえるように伝えていくことも必要かなと思いました。
- ・PTA研修で取り上げ、保護者と対応について共通理解を図る。
- ・保護者研修。いざとなった時に、安定ヨウ素剤を子どもに飲ませる勇気・知識を。
- ・いざという時の避難場所として地域にアピール。
- ・行政との連携を深め、まず篠山市がどういった対応をするかを投げかけ、トップダウン式に学校はどういう動きをするかといった系列的な働きかけが必要である。
- ・本校を中心として、情報の収集や避難先の確保を近隣の都市と連携を取る準備をする。(居住地が篠山市以外の職員が多く、避難も長期化が予想されるため。)

【防災教育】

- ・原子力災害も含めた防災教育。
- ・防災学習や訓練で内容を活用する。
- ・子どもの認知レベルによって理解できにくい子もいると思います。理解できる子どもには指導すればよいと思います。
- ・自分の身の守り方。恐怖ばかりを植え付けない方法で伝える。
- ・原子力防災についての基本的な理解ができるような取り組み。安定ヨウ素剤についての勉強。

【今後の職員研修】

- ・一度の研修ではなかなかつかめないこともあり、特に原子力防災については、これから職員がしっかり研修を積んでいく必要性を感じた。

5 その他感想やご意見をお書きください。

- ・今まで具体的に考えたことがなかったですが、いつどこで起こってもおかしくないなど、やっと考え始めたところです。
- ・研修を受けて初めてのことばかりだったが、知ることができてよかった。
- ・ビデオではなく生で講演を聞きたかった。講演は分かりやすかったです。
- ・貴重な分かりやすいお話でした。ためになりました。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすく教えていただいてとても良かったです。教師が立ち上がって行動を起こさなければと強く思いました。
- ・安定ヨウ素剤の受け取りを市民が義務として考えていく必要があるかもしれません。
- ・安定ヨウ素剤についてよく分かりました。
- ・許容量の話が分かりやすく、そのため怖いなと思いました。
- ・安定ヨウ素剤の備蓄が篠山市の近隣では西脇市だけということで、まだ備蓄が他の市では進んでいないのだなと思いました。
- ・市が考えておられる手立て（ヨウ素剤を公民館に取りに行く、配布するなど）の中には現実問題として難しいものがあるような気がしました。
- ・被ばくに対する心構え（方法）を知ることができましたが、2時間以内に何をすべきかを考えるべきというのがよく分かりました。
- ・早急に理解を深めて具体的な対応策を策定する必要があると感じる。
- ・学校職員の市外在住の方のヨウ素剤は必要ないのか。

アンケートにご協力ありがとうございました。